

NPO法人 町田ハンディキャブ友の会

〒194-0013 東京都町田市原町田4-24-6

Tel : 042-721-5721 Fax : 042-721-6605

mail : mcdhcb@yahoo.co.jp

第72号 発行責任者 石井 章夫

発行日 2025年11月1日

紅白の絨毯 ～秋の訪れ・彼岸花～



撮影地：旧永井家住宅（薬師池公園）

地域に密着した活動を

行っています
理事長 石井 章夫

きびしい暑さが過ぎ、過ごしや
まい季節となりましたが、皆さ
まいかがお過ごしでしょうか。
私たちが活動、移送サービ
事業は、大きな事故もなく順調
に進められています。今年もあ
とわずかにあります。今年もあ
続き「安全で安心して利用でき
る移送サービス」を目指して、
活動を行っています。

町田ハンディキャブ友の会は、
移送サービスを進めながら、地
域に密着した活動を行っています。
す。11月29日（土）には町田市
役所で行われる「まちカフェ」
に参加します。来館者に車いす
に降りを体験してもらおうこと
を考えています。また、12月6
日（土）には、小学生を対象に
車いすで原町田にある「七福神
めぐり」を計画しています。
そのほか、地域に向いて車
いす操作講習を行っています。
ひとりでも多くの方に参加し
ていただき、町田ハンディキャ
ブ友の会の活動を盛り上げてい
ただきたいと思っております。
業「「バリアフリーマップ運営」
「地域密着活動」を通じて「福
祉のまちづくりの推進」を図つ
てまいりますので、引き続きご
支援・ご協力をよろしくお願い
します。

活動報告

◎車いす×宝さがし

8月10日(日)、町田市役所福祉総務課主催の「車いすのつて宝さがしをしてみよう」が町田市役所で開催され、町田ハンディキャプ友の会の理事や運転手等が協力しました。

参加した小学生と保護者の方々は、福祉総務課の職員から「心のバリアフリー」について説明を受けた後、車いすの取扱いや操作方法などを町田ハンディキャプ友の会の職員から実技を交えて学びました。



車いすの扱い方のレクチャー

車いすの操作方法を学んだ後は、実際に車いすに乗って、町田市庁舎内のバリアフリー設備を回り、各ポイントでクイズに答え、

キーワードを集めながら、バリアフリーを身近なもの、必要なものであると感じてもらいました。参加者はすべてのキーワードを集め、最後にお宝をゲットし、思い出に残る夏休みの一日となったようです。



市役所入口には音声案内があります



屋上へ出るための昇降機を体験

◎避難輸送訓練

10月11日(土)、町田市や町田市社会福祉協議会、小田急交通南多摩株式会社および関係団体の合同で、避難輸送訓練が行われ、地区(相原町)で行われ、事務局長と運転手1名が参加し、災害時における当会の役割を確認しました。

多摩地域直下地震を想定し、一次避難施設から二次避難施設(※)への避難輸送をする訓練です。(※)町田市では、身体障害者手帳1級及び2級、愛の手帳1度及び2度、介護保険認定要介護3以上の方を、避難行動要支援者と位置付けています。その中で災害時に小中学校等の避難施設で生活が困難な方を二次避難施設(指定福祉避難所)で受け入れます。



無事に二次避難所へ送り届けました

◎昭葉祭 車いす体験会

10月25日(土)、昭葉祭の学園祭「昭葉祭」内において行なわれた「車いす体験会」に、理事や運転手が協力しました。

このイベントは車いす利用者の視点に立ち、不便さや工夫を体感することで、バリアフリーやユニバーサルデザインの重要性を理解する目的で行なわれ、参加した学生には実際に構内を車いすに乗って移動することで、日常に様々なバリアがあることを実感していただきました。

また、リフトカーのリフト操作の体験もあわせて行ないました。



リフトの体験

車いす体験終了後には、町田市役所福祉総務課から「心のバリアフリー」に関する話もあり、ユニバーサルデザインの理解が深まった一日となりました。

ドライバーのつれづれ日記



柚木 昌和

暑さも治まり秋の行楽シーズンが到来、旅行に出ようと思っても躊躇してしまう。同級生らと昨年の秋、そんな話をしている中で、「皆が動ける内に行こうではないか。」と話が纏まり、今年の3月、4人で鹿児島県へ行きました。往復新幹線で2泊3日の旅行でした。

指宿温泉での砂風呂を体験し、霧島神宮や鹿児島市内観光もしました。但し、天候不順で雨に降られたり、桜島が半分雲に隠れ全体が見られず残念なこともありました。

4人とも初めての鹿児島、九州新幹線だったので思い出になりました。「来年も何処かに行こう。」と約束をして解散しました。

私にとっては、とても良いリフレッシュとなりました。ドライバーを始めて5年と半年になります。毎回安全運転を心掛けておりますが、年齢を重ねるごとに衰えを感じます。これからも利用者の皆様に安全で安心していただけるように気分転換を図り、健康に留意し送迎運転に努めてまいります。

お知らせ

◎まちカフェ

11月29日(土)、第19回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ!」が開催されます。140を超える団体が参加する、町田最大規模のイベントです。

町田ハンディキャブ友の会も町田市役所を会場に「車いすの乗ってリフトカーを体験しよう」というテーマで、車いすの対応のリフトカーの展示および体験を行います。入場無料です。ので、ぜひ足をお運びください。



*** 探しています ***

7/14にご依頼欄未記入の振込が、町田つくし野郵便局からありました。お心当たりの方は、お知らせください。

内容：利用会員費3,000円

年会費のお振込み
ありがとうございました



阿部 弥生 石井 章夫 井上 廣美 今村 路加 川上 一三 加藤 武生 小竹 金次 小峰 輝雄 境 百合子 下川 満里子 下村 健一 鈴木 正 相馬 恒夫 高橋 鶴子 松本 光明 宮前 武夫 湯川 司 渡部 忠宣 渡辺 宏明 五野 井 絢子 西村 絢子

青沼 由美 我妻 あゆみ 薄井 ヨシ子 内田 芳子 海野 美代子 圓林 かおる 岡田 侃士 尾崎 新 葛城 正敏 神戸 洋介 栗原 亜紀子 後藤 利恵 鈴木 淳雄 鈴木 澄子 高梨 和子 田中 早苗 田中 弘俊 都世子 菊子 中川 栄一 長嶋 優子 堀留 辰子 丸山 奈穂子 藪崎 哲生 安田 美登里 山崎 直子

秋山 哲男 ウィズ 町田 梅元 三佳 小川 信雄 神谷 聡 後藤 美智子 高橋 玲子 中村 理 平塚 陽一 広崎 さよ子 吉浦 三知子

(敬称略)

正会員

利用会員

賛助会員

◎会費納入のお願い
町田ハンディキャプ友の会は、
皆様の会費で運営されています。
今年度の会費未納の方は、お
振込み願います。

事務局だより

◎年末年始の運行について
年末年始は12月30日～1月3
日まで運行がお休みです。
(事務所は12月27日～1月4日
までお休みです)



ご寄付

後藤 美智子 様

紙面にて
お礼申し上げます。
誠にありがとうございました。

シリーズ・ことば

シリーズ・ことば

シリーズ・ことば

旅の途中で — 2

Nabe。

ある日突然
“し”という漢字が
書けなくなった
“ぼえむ”という
あの漢字である

ある日突然
“みち”という漢字が
書けなくなった
“ロード”という
あの漢字である

そうして
やがて
“旅”という漢字が
書けなくなったとき
ぼくのなかの
すべての旅は終わる

…だが
たどり着くべき墓標は
未だ
はるか彼方だ



《編集後記》

月日は百代の過客にして、
行きかふ年もまた旅人なり
(奥の細道——松尾芭蕉)

暮れて行く年の瀬に向か
う折々には、決まって脳裏
に浮かぶ一節である。
ただに過ぎて行ってしまう
う時間、ふと我にかえって
足もとに目をおとしてみる
と、地球全体が干涸びてし
まうほどの異常な温暖化、
終わりの見えない戦争、そ
こから生み出される飢餓、
記憶の扉に残したまま、
でに忘却してしまった救
が難く、哀しい限りのない時
が横たわる。
“ハンディキャプ”——直して
歩み残したこの1年に思いが
を馳せてみると、年々規模
を拡大しながら、さらなる情
報提供のために取り組むバ
リアフリーサークルの作成等
の社会貢献事業、在宅高齢
者支援等々、まっすぐ背
すじを伸ばして前を向いて
歩んで行ける、幾つもの笑
顔と幾つもの希望がある。
：やがてせりがやの森も、
その衣を少しずつたそがれ
色に染め変えて行く季節で
ある。

(2025.11月広報子一同)